

1 学校の教育目標

やさしく かしこく たくましく

2 学校の教育目標具現化に向けて

これからの学校には、一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

そのために、「やさしく（豊かな心）」「かしこく（確かな学力）」「たくましく（健やかな体とねばり強さ）」の調和のとれた育成を実現し、児童に「生きる力」を育むことを目指す。

やさしく

どの子にも
豊かな心を

私たちは、児童が自立した人間としてよりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目指す。そのために、児童自らが自己を見つめ、自己の生き方を考えることができるようにするとともに、日常の様々な問題や自己の生き方についての課題に直面したときに、自らの主体的な判断の下に行動し、他者との関係を主体的かつ適切にもつことができるようにする。

かしこく

どの子にも
確かな学力を

私たちは、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努める。そのために、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する。

たくましく

どの子にも
健やかな体と
ねばり強さを

私たちは、健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現を目指した教育の充実に努める。そのために、児童に進んで運動に親しむ態度を育み心身を鍛えることができるようにするとともに、健康や食に関する正しい知識と実践力を身に付けさせる。さらに、安全上の課題に関する指導を一層重視し、危険から身を守る能力（危険予知能力・危機回避能力）を高める。

また、難しいことにも失敗を恐れず挑戦し、最後までやり抜く経験を積ませ、自己の感情や行動を統制する力を育んでいく。

児童に「やさしく（豊かな心）」「かしこく（確かな学力）」「たくましく（健やかな体とねばり強さ）」のバランスのとれた「生きる力」を育成するにあたっては、学校教育全体並びに各教科、道徳科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしながら、教育活動を充実させることが重要である。

そこで、児童の発達段階や特性等を踏まえつつ、「学校教育全体で育成を目指す資質・能力」と「目指す子どもの姿」を次表の通り整理し、資質・能力の3つの柱〔(ア)知識及び技能の習得 (イ)思考力・判断力・表現力等の育成 (ウ)学びに向かう力、人間性等の涵養〕の育成が偏りなく実現できるようにしていく。

「学校教育全体で育成を目指す資質・能力」と「目指す子どもの姿」

学校の教育目標	やさしく 徳 心豊かで思いやりがあり、友達と協力できる	かしこく 知 創造力に富み進んで学ぶ	たくましく 体 意 心身が健康で、ねばり強い	
学校全体で育成を目指す資質・能力	(ア) 知識及び技能の習得	○道徳的な価値を理解し、適切に行動する力	○他の学習や生活の中で使うことのできる基礎的な力	○健康で活力ある自立的な生活を送るための基礎的な力
	【目指す子どもの姿1】 既得の知識・技能と関連づけて、新たな知識・技能を獲得する子			
	(イ) 思考力・判断力・表現力等の育成	○多様な価値観を認め多面的に考え、自己の生き方についての考えを深める力	○課題を見出し、見通しをもって実行し、適切に伝える力	○心身の健康や安全についての課題の解決に向け考え、実行する力
【目指す子どもの姿2】 課題解決に向け、比較・分類・関連づけなどして考えをまとめ、表現する子				
(ウ) 学びに向かう力、人間性等の涵養	○多様な他者とよりよい生活を築こうとする力	○他者と協働して、進んで課題を解決しようとする力	○健康で活力のある自立的な生活を日常化する力 ○自己の感情や行動を統制し責任ある行動をとる力	
【目指す子どもの姿3】 主体的・協働的に取り組み、学びをこれからの学習や生活に生かそうとする子				

3 経営の方向

(1) 経営の基本

- 学校は、児童一人一人の能力を伸ばし、社会において自立的に生きる基礎を培う場である。児童に学年に応じた力を身に付けさせ、「中学校・高等学校に進んでも困らない」、そして、「将来、直面する変化を柔軟に受け止め、他者と協調して、豊かな人生や社会を創る」ための基礎的能力や習慣形成に努める必要がある。本校は、これまで、一人一人のよりよい成長を目指し、教職員が自己研鑽に励み、教職員相互の連携を重視し、教育の質的向上を目指してきた。このような本校に根付いた学校文化を継承し、創意を加え、より本校の実態に即した教育を追求する。
- 旭川市の「働き方改革推進プラン」に基づき、教職員が心身の健康を損なうことなく、業務の質的転換や量的見直し・改善を図る取組を推進していく。
- 新型コロナウイルス感染症が拡大している現状を踏まえ、社会全体が長期間にわたりこの新たなウイルスと共に生きていかなければならないという認識に立ち、感染対策を徹底しつつ子どもの健やかな学びを保障する新たな学校づくりを推進する。特に、コロナ禍で人間関係が希薄になる中であって、人と人とがつながり学び合う体験は貴重である。可能

な限り「協働的な学び」の場を設定していく。

○GIGAスクール構想のもと、児童1人1台の端末及びその活用環境の整備に努め、ICTを適切に活用した学習活動の充実を推進する。

(2) 目指す姿

【目指す子どもの姿】

- ① 既得の知識・技能と関連づけて、新たな知識・技能を獲得する子
- ② 課題解決に向け、比較・分類・関連づけなどして考えをまとめ、表現する子
- ③ 主体的・協働的に取り組み、学びをこれからの学習や生活に生かそうとする子

【目指す学校の姿】

- ① 一人一人にみんなで活動する楽しさを実感させる学校
- ② 一人一人に「分かった、できた」喜びを保障する学校
- ③ 一人一人に健やかな体とやり抜く強い意志をはぐくむ学校

【目指す教師の姿】

- ① 法令を守り、心身共に健康で愛情豊かな教師
- ② 教職員相互が信頼し合い、連携・協力する教師
- ③ 保護者地域等と共に子どもの成長を目指す誠意ある教師

健 全
連 携
誠 意